

令和 7 年 10 月臨時会

令和 7 年 10 月 20 日

市 長 説 明 要 旨

### 【日程第 3】

今臨時会におきましては、消防広域化に関する関連議案 4 件について御審議をお願いするものでありますが、提案理由の説明に先立ち、諸般の報告を申し上げます。

まず、廃校を活用したデータセンターの建設計画について申し上げます。

国内 4 か所でデータセンターを運営する株式会社ハイレゾが、旧潟西中学校を念頭に、市内の廃校舎を活用したデータセンターの建設を計画し、この度、国の「デジタルインフラ強靱化事業」に採択されました。同社は、東京都に拠点がありますが、廃校を活用したデータセンターの取組がたびたびマスコミに取り上げられるなど、注目を集めているスタートアップ企業であります。

データセンターが首都圏等の都市部に集中し、大規模災害時のリスクが懸念される中、地方への分散立地は情報インフラの強靱化のみならず、AI の活用を通じた DX の実現など、地方創生につながるものと期待されております。

こうした中、気候が冷涼で再エネ電源が豊富な本県は、省エネや脱炭素の取組と合わせた環境配慮型のデータセンターの適地として有望であり、また、データセンターを含む情報通信産業は男女を問わず就業ニーズが高く、若者の定着や回帰にも寄与するものであります。

こうした観点から、市では、県と連携しながら同社に対して、廃校を活用したデータセンターの誘致を積極的にアプローチし、今回の事業計画と国事業の採択に至ったものであり、自治体によるデータセンターの誘致としては本県初となります。

同社では、雇用人数を 5 名から 10 名程度と想定し、再エネを積極的に活用することとしているほか、県内の大学との連携により、次世代の AI 開発や学術研究、さらには地元産業の DX 需要を支える高性能なデータセンターを目指したいとしており、事業計画の精査により、建設場所を含めた最終的な整備内容を固める予定と伺っております。

市としては、遊休施設の活用や雇用創出はもとより、若者や A ターン希望者を引き付ける魅力ある地域へと成長するきっかけとなり得るほか、多額の設備投資による経済波及効果が見込まれ、地域活性化に大きく寄与する事業と期待しており、計画が円滑に進むよう、県と連携しながら取組を後押ししてまいります。

次に、防災力強化に向けた取組について申し上げます。

先月 23 日、大規模災害時の孤立化への対応能力の向上を図るため、半島沿岸部が孤立したことを想定し、内閣府、秋田県と共同で大規模な訓練を実施いたしました。

陸・海・空の自衛隊をはじめ、総務省や国土交通省、消防や警察、気象台など 33 の機関と樺地区・北浦地区の住民を合わせた約 400 人が参加し、救援物資や避難住民等の輸送や避難所開設の流れを確認したほか、これまで実績がなかった舞台島駐車場と芦の倉駐車場へのヘリコプターの離着陸の検証を行ったところであります。

また、今月 11 日には、日本赤十字社北海道・東北支部主催の災害救護訓練が本市を会場に行われました。

当日は県の秋田中央保健所と本市の保健師も参加し、避難の長期化を見据え、トイレ環境を中心とした避難所の衛生管理や、薬の管理・処方等の医療的支援のあり方について、知識と実践を深めたところでもあります。

両訓練を通じて、半島防災の強化に向けて新たな経験を積むとともに、参加機関とのスムーズな連携を確認することができたと考えております。

今回得られた課題や成果を検証し、市民の安全・安心を守る実効性の高い体制の構築に努めるとともに、関係機関との間で平時から情報の共有や合同訓練を重ねるなど、顔の見える関係づくりを一層推進し、災害対応力の底上げを図ってまいります。

以上で諸般の報告を終わり、次に提案理由の御説明を申し上げます。

議案第 65 号から第 68 号は、男鹿・湖東両地区の消防本部の統合に向けて、関係地方公共団体と協議するため、新たな消防組合の設立、現組合同規約の変更、現組合の解散及び解散に伴う財産処分について、議会の議決を求めるものであります。

以上、提案理由について御説明を申し上げます。よろしく御審議の上、御可決賜りますようお願い申し上げます。